

F 第30回となる「ST昭栄テクニカルフェア」



平澤利明社長

『STF昭栄テクニカルフェア』 に1200人超えの来場者

信念は「過去完了形で物事を考える」
—平澤利明社長—

今回は、同社の長岡支店開設30周年記念と

うだ。今回は、同社の長岡支店開設30周年記念と

新潟県の有力デベロッパー・昭栄産業が開催する本展示会は1999年1月のスタート(年2回開催時あり)、例年は本社(新潟市)ショールームで「ミニプライベントショー」として行われており、その認知度は高く、近隣県からは、宿泊しての来場が毎回恒例となっているユーザーもいるそうだ。

「エア」が5月10・11日に開かれ、目標を上回る1246人(初日705人、2日目541人)が来場し、盛況を極めた。

「この1年で稼がないと、いつ稼ぐ?」と強気のトーンが続く平澤社長。その信念は「過去完了形で物事を考える」だとか。

「この1年で稼がないと、いつ稼ぐ?」と強気のトーンが続く平澤社長。その信念は「過去完了形で物事を考える」だとか。

平澤利明社長によれば、2012年度(6月期末)の業績を「対前年比5%減」としながらも、迎える2013年度(7月)については「全く悲観はしていない。むしろ、樂觀している」と話す。

「出来上がった」を先に考えれば、不思議に、そのように行動するもの。」



メーカー69社が出展

「これまで以上に活気に満ちた企業に変わりつつあると自負している。『伝統は革新の連続』、顧客感動を求め、常に、新しい仕掛けをつくりながらビジネスを展開していきたい」旨の挨拶にも説得力が宿っていた。

「これまで以上に活気に満ちた企業に変わりつつあると自負している。『伝統は革新の連続』、顧客感動を求め、常に、新しい仕掛けをつくりながらビジネスを展開していきたい」旨の挨拶にも説得力が宿っていた。

「1991年当時は、国内市場だけで機械の需要は1兆円あったが、最近では4千億円程度。しかし逆に、当社の売り上げは増えている。2000年頃に「ここ

「1991年当時は、国内市場だけで機械の需要は1兆円あったが、最近では4千億円程度。しかし逆に、当社の売り上げは増えている。2000年頃に「ここ

「これまで以上に活気に満ちた企業に変わりつつあると自負している。『伝統は革新の連続』、顧客感動を求め、常に、新しい仕掛けをつくりながらビジネスを展開していきたい」旨の挨拶にも説得力が宿っていた。

「これまで以上に活気に満ちた企業に変わりつつあると自負している。『伝統は革新の連続』、顧客感動を求め、常に、新しい仕掛けをつくりながらビジネスを展開していきたい」旨の挨拶にも説得力が宿っていた。

「これまで以上に活気に満ちた企業に変わりつつあると自負している。『伝統は革新の連続』、顧客感動を求め、常に、新しい仕掛けをつくりながらビジネスを展開していきたい」旨の挨拶にも説得力が宿っていた。

「これまで以上に活気に満ちた企業に変わりつつあると自負している。『伝統は革新の連続』、顧客感動を求め、常に、新しい仕掛けをつくりながらビジネスを展開していきたい」旨の挨拶にも説得力が宿っていた。

「これまで以上に活気に満ちた企業に変わりつつあると自負している。『伝統は革新の連続』、顧客感動を求め、常に、新しい仕掛けをつくりながらビジネスを展開していきたい」旨の挨拶にも説得力が宿っていた。

「これまで以上に活気に満ちた企業に変わりつつあると自負している。『伝統は革新の連続』、顧客感動を求め、常に、新しい仕掛けをつくりながらビジネスを展開していきたい」旨の挨拶にも説得力が宿っていた。

「これまで以上に活気に満ちた企業に変わりつつあると自負している。『伝統は革新の連続』、顧客感動を求め、常に、新しい仕掛けをつくりながらビジネスを展開していきたい」旨の挨拶にも説得力が宿っていた。

「これまで以上に活気に満ちた企業に変わりつつあると自負している。『伝統は革新の連続』、顧客感動を求め、常に、新しい仕掛けをつくりながらビジネスを展開していきたい」旨の挨拶にも説得力が宿っていた。